信州戸隱山及ビ其附近ノ注意スペキ植物一班

)信州戸隱山及ビ其附近ノ注意スベキ植物一斑

逢着セシヲ以 余等一行ハ八月一日ヨリ六日ニ亙リ戸隱山彙ヲ探究セシニ荒安附近ニ於ケルほざきやどりぎ、飯綱原ニ於ケル 大正七年八月信州長野、 ラ左ニ其概要ヲ記 荒ったる 飯綱原、中社ヲ經テ戶隱山彙ニ植物ノ採集ヲナセシニニ三注意ニィッチステッチント セントス 值 スル æ 1

存在ヲ認識 其各羽片ノ大形 rostrata AIT. var. mandshurica Reg.)ヲ得タリ 戶隱附近一帶ノ山地ニ生ズルおにしもつけ(Filipendula kamtschatica MaxIM.)ハ葉柄ニ對生セル小羽片ヲ具有シ シ得ザルニ至レリ亦一地方的異形品トシテ考フルニ足ラ ノモノニ至リテハ1×9cm. ニ達シ莖ノ上部ニ至ルニ及ビテ其羽片ハ小形トナリ又ハ逐ニ全ク ン敷 其

ひあふぎあやめノ外飯綱原ニ於テキほばぼだいじゅ(Tilia Maximowicziana Shiras.) おほばつのはしばみ(Corylus

質葉裏ハ灰白色ヲ呈ス槪形ふじやなぎ(Salix Hisauchiana Komz.)ニ類スト雖モ樹姿甚ダ粗大ニシテ葉質厚ク葉飯綱原ニハ一種ノ柳アリ其高サ大約四尺ニシテ粗雜ナル枝ヲ密生シ其葉形ハ小判狀ヲ呈シテ尖頭葉面ハ綠色角 學上ノ位置ヲ 端鋭尖頭ナラズ芽苞 ズヤト思 ハル假 こしなのやなぎト和名シテー行ノ記憶ニ便セン ニスルコト困難ナリト雖モ余ノ主觀的觀察ニョレバ或ハ一新種トシテ記載スベキモノニアラ ハふじやなぎニアリテハ淡緑ナルモ本品ニアリテハ赤色ヲ呈セリ今花實ヲ見ザレバ其分類 トトス

ニー樹木 · 裏山 タル部 分モナシ即チ 新種アリー見まるばくろつばら(Rhamnus globosa Bunger)ニ類スレドモ 一不動」ノ地ニかへでノー品アリ園藝品まひくじゃく(Acer japonica Thunb. var. Rhamnus senanensis Koidz. 是ナリ余ハしなのくろつばらノ新和名ヲ下セ 種子 ハ背面 三溝 y ナ

實物

ス

ルノデアル、又搾葉ト

小何

雄花

科

ナル學科 附キタ

(ア用意 ヲ用意

ŀ

來テハ用意ノ仕方ガ寧ロ粗略

書中ニハ隨分ト驚キ入ッタ書キ方ヲシテア 科教授細目」ト題セルー書トナシ其市

ĵν

ル栗ノ搾葉ヲ多數ニ用意セヨト希望シテアル要スルニ是レハ一向ニ其要旨

校ノ校長連ガ多數相

集

イテ多クノ貴重 処ニ有名

ナル

東京ヲ南

距

ル七里許

ラ處

ナル

開港場ガアル縣廳、

税關

ナドモ

h

てつかへでヲ産ス

大洞澤ニ入リテ俗稱「布袋ノ横這ヒ」ニ達セシ時余等ハたてやまうつぼぐお(Prunella prunelliforme Makino))********************************* 日山第二ノ産地歟 ひめくもまぐさ(Saxifraga bronchialis L.)ハ從來表山ノ「八方瞰」ノ岩壁ニ知ラレhachii Makuro.)ニ似タル野生品ナリ此邊又こみやまかたばみ、てつかへでヲ産ス タリ ŀ 雖 モ 今囘余等ハ

ひめしゃじん (Adenophora nikoensis Fr. ET SAV.) ノ純白花ノモノ幷ニくろくもおう(Saxifraga fusca MAXIM.)ノ 尙當時ねてしでハ果實ヲ有シみやまままてなハ美花紅葉ヲ裝ヒしさんからまつハ其亭々タル莖ヲ叢中ニ抽キさ 綠白花ノモノヲ得タリ

〇某市小學校長會編纂『教授細目』中ノ搾葉ト筍等

ばいさう、うさぎざく等ノ黃花岩罅ヲ領シ高山的美觀ノ自ラ備ハレルヲ示セリ

原 虎 之

横濱植物會會員

アッテ般富 ナ市ヲナシラ居ル同

市

ノ市役所デ發行シ市内ノ各小學校 . 時間ヲ消シ且多額ノ費用ヲ擲チテ敎授 モノガアルノヲ見タ今其一二ノ例ヲ舉 ニ配布セ シ ノ細目ヲ作リ之ヲ「小學校各 モノ 'n レバ栗ヲ ,ヲ謹 ン 授ク デ拜讀ス -ル = ルニ其 當リ雌

ハ生キタル實物ニョリテ授クルノガ最モ有効デ且最モ生氣アル教授法 デアル余ヲシテ此事ニ 事カ多分腊葉 ノ誤デアラウ 就キ希望ヲ述ベシ 小思 下謂 ラ ガ帯 ムル ナラバ ネ モ諸 敎 ナラヌ然ルニ 栗ノ花ノ 員 對 シテ教 生き

ガ徹

底シテ居ナイ元來

某市小學校長會編纂『教授細目』中ノ推葉ト符等